

志免西小学校の分離・新設を求める請願 採択!

志免交番移転設置に関する請願

12月定例会は4日から15日までの12日間の会期で開きました。補正予算・議案11件を可決。請願4件採択、1件は不採択、意見書4件を採択しました。一般質問は7日、8日の2日間で7人が行いました。

志免西小学校の分離・新設を求める請願

賛成多数

(賛成8・反対6)欠席1

賛成：堤、吉住、池邊、西川、吉田、稲永、大林、末藤
反対：大熊、助村、丸山、牛房、大西、熊本
欠席：二宮

請願者 安武 高晴
(請願趣旨)

志免西小学校の校舎増築、分離・新設問題については、西小学校区において、この先、多数のマンション計画があると推測される。児童増加に伴い、現状を見ると教室不足が生じると見込まれる。

教育とは、文武両道を基本とするものであり、児童が増加し、現在の校舎を増築すると校庭が狭くなり、児童の遊び場や運動場などの一人当りの面積が狭くなり、教育本来の文武両道が成り立たなくなる。

このような状況を考えると、通学の面からも別府地区の西地区運動広場に新たな小学校を新築する事によって、御手洗地区の児童も徒歩にて通学ができ、親御さんの交通負担もなくなる。つきましては、志免西小学校区の町内会長連合会は、西地区運動広場に新校舎の新設を、強く要請する。

反対討論

牛房 議員

今、経済状況はデフレ不況へ突入し、民間デベロッパによる戸建住宅、マンション建設がどのような方向へ進むのか不透明であり、且つ今後の財政状況はさらに厳しさを増すのは明白である。

従って分離新設については、別府・鏡地域の倉庫群のマンション化の進み具合や、30人学級の実施時期などが明らかになった時点で、校区再編成を含めた形で、新設問題に対応すべきと考える。

大規模校の対策としては、学力向上の観点から学級補助員の増員、少人数指導や、習熟度別授業を積極的に進めて行く必要がある。以上の事を踏まえ、分離・新設については、もう少し事態を精査する必要がある、当面は増築で対応する事が妥当と判断をした。

志免西小学校の分離新設・増築等調査特別委員会

西小学校の分離・新設・増築等の調査・研究を続けてきた。今般、町長の考えを確認した。

町長は増設の方向

西小学校区は、大型マンションの増設計画が相次ぎ、児童数一〇〇〇以上、31学級以上の大規模校になるのは喫緊の問題。

町はその検討策として、区域外就学の検討や、スクールバスの検討等を行ったが、いずれも問

題、課題があり断念をした。

一番の問題は財政問題であり、本町においては平成17年度から21年度まで行財政改革実行計画を推進、さらに22年度から3ヶ年を期間とする新たな町財政健全化緊急3ヶ年計画の策定にも取り組んでいる。

しかし、政権交代により地方自治、地方行政がどのような方向に進むかは現時点では不透明で、今後、財政状況はさらに厳しくなることは明白。

このような状況を踏まえ、学校規模の適正化に問題があると思うが、今の所は増設で対応したいとの考えが示された。

一定の調査・研究を終えたので11月4日をもって当委員会は、廃止を全員賛成で決定した。

志免交番移転設置に関する請願

請願者

請願者

志免交番は町の東部より位置し、鐘・御手洗地区より遠隔で交番活動に支障の場合がある。

町民の安心安全まわづくり推進の為に町の中央に移転設置を要望する。

請願者 志免町交通安全指導員

(意見書概要) 志免町交番連絡協議会委員 高木 恒男

平成20年に志免町で発生した刑法犯は839件、西小学校352件、中央小学校333件で、2校区を併せて685件発生し、町全体の81.6%の犯罪が両校区で発生。住民の安心と治安維持から、素早く事件に対応して頂くため、志免交番を町中心付近に移転することを要望。

建設常任委員会に付託した本請願は全員賛成で採択

意見書を作成し、本議会に提案。

本議会において全員賛成で採択。

県警察本部長など関係機関へ意見書を提出。



▲志免交番 (志免東小学校横)

町の中央に
移転設置を要望



▲志免西小学校運動会